

おおい
自然園

ラミーカミキリ

No.153

この時期、路肩に生えるカラムシという植物を見ていると、葉の上に体長1.5 cmほどの青緑色の美しいカミキリムシが見られることがあります。中国原産の外来種であるラミーカミキリです。

和名にある「ラミー」は聞きなれない単語ですが、カラムシと同じイラクサ科の植物の名で、いずれの植物も繊維をとるために栽培されている地域があります。

本種の幼虫は草を食べる種類で、カラムシの茎の中で育ちます。木を食べる種類が大半のカミキリムシの中では少数派です。背中に羽を広げて飛ぶ鳥のような模様があり、おしゃれな昆虫です。近づくと飛んで逃げるがありますが、すぐに止まることが多く、じっとしている個体も多いので、比較的観察しやすい昆虫です。



カラムシの葉にとまるラミーカミキリ

神奈川県立生命の星・地球博物館学芸員 渡辺恭平



◀おおい自然園HP
大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。



◀自然NOWへの投稿
町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で